

## 第9回 九段小学校・幼稚園施設整備検討協議会 議事録（要約）

日 時：平成25年11月14日（木）  
午後6時30分～8時05分  
場 所：九段小学校・幼稚園 3階図書室  
出欠状況：出席委員18名 欠席委員3名  
事務局：子ども施設課  
オブザーバー：麴町出張所長・富士見出張所長  
設 計：久米設計

田中会長 皆さん、こんばんは。委員の皆様方にはお忙しいところお集まりいただきまして誠にありがとうございます。第9回目の九段小学校・幼稚園施設整備検討協議会をこれから開催致したいと思っておりますので、よろしく申し上げます。  
開会に先立ちまして、小林委員と小野寺委員が都合でご欠席という情報が入っています。それから杉田委員は町会関係の仕事があり若干遅れてお見えになるということですのでよろしくご願ひ致します。  
本日も一応8時を目途に会議を進行させていただきたいと思ひます。よろしくご願ひ致します。では、事務局からご説明ご願ひ致します。

辰島課長 説明に先立ちまして、渋木委員からも本日ご欠席の連絡がありましたのでご報告させていただきます。  
まず、本日の資料を確認致します。前回ご要望のありましたゾーニング配置図3案につきまして、A3の資料3枚を配付してございます。  
「資料1 L字型案」「資料2 体育館4階コの字型案」「資料3 体育館地下コの字型案」の3点でございます。この他モニター等を使用して説明をさせていただきます。今回の資料ですが、単にお渡しするだけでは内容が分かりにくい図面の資料ということで、大変恐縮でございますが当日配付とさせていただきます。ご理解の程どうぞよろしくご願ひ致します。  
各委員からのご質問やご意見につきましては、久米設計からの説明のあと時間を設けさせていただきたいと考えておりますので、ご協力よろしくご願ひ致します。  
それでは次第に従いまして進めさせていただきます。  
まず、次第「1. 道路公園課との協議状況」についてご説明させていただきます。  
前回の協議会では、学校整備に合わせた公園の活用や整備に関するご要望をいただきました。ご意見を受けまして道路公園課と打ち合わせを行い、皆様からの要望をお伝えしたところ、九段小学校・幼稚園の施設整備に合わせた公園の整備について今後継続的に協議していくこととなりました。ただし、校舎整備と公園整備のスケジュールを合わせられるかどうかや、具体的にどのような対応が可能かといった点は今後の協議によるところです。この協議にはある程度の時間が必要となりますので、基本設計の段階では結論を出せない事項もござひます。予めご理解くださひますようご願ひ致します。なお、現段階の見通しではこれに関連した協議のポイントとして次の3点が考えられます。  
1 つ目は、現在皆さんが利用されている公園側からのアプローチについてです。敷地の西側に校舎を配置した場合、現在と同様に公園から直接出入りできる昇降口を設けるご要望がありました。この点につきましては復興小学校と復興公園という成り立ち、また現在も利用されている実態があることから今後も同様に利用できるとの見通しが強いところです。  
2 つ目は、公園上部から学校に入る北側の入口についてです。現状の入口の他に、新たに入口を設けることは無理ではないとしながらも、現状同様の入口を引き続き設ける場合より難しい検討

になります。関係各課と知恵を出し合うよう努めてまいります。正直なところ可能性を探るレベルであるということをお知らせいたします。

3 つ目は、公園全体の整備内容についてです。例えばプールは学校が利用してきた経緯がありますが、位置づけとしてはあくまで公園の施設です。プールを学校内に取り込んだ後は改めて公園として整備する必要があります。また前回もご要望いただいた、校舎前の急な階段の改善や通路の活用の問題などは、今後公園の整備の中で検討することになります。

こうした課題への対応策は、今後の道路公園課との協議によりますので、皆様には一定の結論が出るようなタイミングで状況報告しながら進めてまいります。

公園に関する状況については以上でございます。

引き続きまして、次第の「2. 敷地内レイアウト」についてご説明致します。

前回の協議会では、昨年度の協議の到達点である公園側に開いた形で校庭を配置する逆L字案をご提示し、ご議論をいただきました。議論の中で西側に建物を配置した案についてご要望いただきましたので、本日3案をご用意しております。

3案の内容等については久米設計より、前回と同様、資料とスライド、模型を使いながらご説明申し上げます。では、お願いします。

## 設計1

プロジェクターが投影されるまで、模型でご説明させていただきます。

ご覧いただきますように、校舎は比較的高層の建物に囲まれてまして、谷間の中にあります。都市の中には非常に貴重な緑と、公園と、もう1つはこの校舎に囲まれた校庭というのが、この地域の都市の中のヘソとして豊かな空間を作り出しているかと思えます。

既存の校舎につきまして、後ほど別の大きさの模型で3案お見せしながらゾーニングと共にボリューム感もご覧いただきたいと思っております。

それではお手許の資料で、まずゾーニングの3案を説明させていただきます。

まずL字型案です。前回の逆L字型案が西側に開けすぎていて、逆にちょっとセキュリティで不安を覚えるというご意見をいただいております。それとやはり西側に、3層の既存校舎があり、そのイメージも残したいというご意見もございまして、案の中の1案としてL字型案をお持ちしております。

次に、コの字案で体育館が4階にある案を2案目としてお待ちしております。これは、西側の校舎をできるだけ高くし、かつそこに体育館を入れて、公園上のじゃぶじゃぶ池と言われている幼児用プールのある側から校舎の3階に入って、地域の方が3階から上を地域開放としても活用できるような案を考えてほしいということで、その案をお持ちしております。コの字の東側が幼稚園で2層分になっていまして、西側に大きなボリュームを持ってきて、東側に2層のものを持ってくるという構成です。

それともう1つ、3案目が同じコの字案なんですけれども、今4階に上げていました体育館を地下に入れます。そうすることで大きなボリュームを地下に入れて、地上部分は必要な教室等を整備しながら面積を少し抑え、ボリューム的に既存の校舎に近いような形でまとめたものがコの字の体育館地下案となります。

この3案につきまして、これから説明させていただきます。スクリーンをご覧くださいませでしょうか。

L字型の案について説明させていただきます。

ゾーニングについては東側に開けてL字に構えておりまして、西側の部分を4階、さらに北側部分を4階ということで同じボリュームで4階建てでL字型に配置しております。先ほどもお話がありました通り、法的には南側の道路から幼稚園入口、小学校入口と設ける必要がありますが、協議している感触としては前向きにご検討いただけることですので、いったん東郷公園の方から入れる形で配置図を描いております。小学校、幼稚園、アフタースクールの入口を中央に設け、地域開放の入口を北西部に設ける考え方です。1、2階に幼稚園が入っておりまして、その1、2階の幼稚園の前面に園庭を確保する考え方です。

各階の平面図です。1階は幼稚園部門と小学校の管理部門を配置しております。先ほど示しました入口は、西側から小学校昇降口の方に幼稚園、小学校、アフタースクールをアクセスできるようにし、地域関連の入口は北西部から独立した動線が可能な計画にしております。1階と2階で幼稚園を構成しておりまして、2階の一部にアフタースクールを入れて、2階の北側校舎の南面下部分と同じく3階の北側に普通教室を配置しております。特別教室は3階の西側校舎の部分と4階の北側校舎の部分に入れまして、プールを西側校舎の上に配置している階層構成になります。地下には、地下1階に給食室、記念室、会議室がございます。もう1層下がって地下2階に体育館がございます。

東西に切った断面では、体育館があつて幼稚園、特別教室があつて4階にプールがあるという構成です。南北に切った断面は、体育館があつて管理部門、普通教室が南面してありまして特別教室がございます。プールはアールをつけた屋根の形状でおそらく日照を確保する形になろうかと思っておりますので、屋外機を北側校舎の上に設置して約1層分くらいの高さになろうかと思っております。次に、コの字型の体育館4階案について説明させていただきます。

ゾーニング図です。コの字に構えておりまして、入口は同様に小学校、幼稚園、アフタースクール、地域開放とほぼ同じような位置から導入するという考え方です。西側部分を高くするという事で実際5階建てという表現になっておりますが、実際には4階に体育館を入れて、高さとしては5階建てないしは6階建てぐらいの高さになります。北側部分が4階建てになってボリュームを稼いだ分、幼稚園さんの棟は逆に2階建てにし、園庭をその屋上に計画しております。校庭は、1、2階部分が一部くぼんだ校舎の形をしており、一部校舎の下に入るような形で校庭を計画しておりますので、実際青の点線で描いた部分が校庭として利用可能な面積になります。ピロティということです。

各階の平面図です。校庭が1階部分にありまして、1階部分と2階部分で校舎の幅を狭くすることで、この部分を有効に使いまして、校庭は現状と同じぐらいの面積を確保しています。3階からは逆にその体育館に必要な奥行きを確保するために、3階と4階にその奥行きを確保する考え方です。1階は幼稚園を東側校舎の1階と2階に計画し、アフタースクールを南側に入れて、北側を管理諸室として使い、2階から上を教室群にしております。普通教室は2階の北側校舎と3階は西側校舎と北側校舎に入れております。特別教室は一部西側の2階部分と3階、および4階の北側校舎の方に入れ、体育館を同様に4階に入れております。先ほど申しました公園からのアクセスは、3階よりも若干低いところからアクセスすることになりますので、公園側からスロープないしは階段でアクセスしていただいて、地域開放専用の入口を設けて時間帯によって入ることができ、地域開放が想定される特別教室群、体育館、5階部分に多目的会議室と記念室を想定し、3階から上に地域開放できるスペースを入れていくという考え方です。

地下1階に給食室、地下2階にプールを入れ、1階に昇降口、2階に普通教室があつて3階から公園の幼児のプールがあるレベルから階段ないしはスロープで上がって入って、特別教室やアリーナといった、地域開放のエリアに入れるという考え方です。それで東西に切った断面は1、2階をセットバックさせることで、ピロティ状の部分を使って校庭面積は現状と同様ぐらい確保していく考え方です。一部日が当たらない校舎の下になってしましますが、特別教室と体育館、その上に屋外機置場を乗せております。こういった分厚い梁の表現で描いておりますが、構造的にはかなりアクロバティックなことをやっておりますから、実際には梁が大きくなったり、柱が大きくなったりとかで建築計画上影響は当然出てきます。東側については幼稚園が1、2階にあり、3階レベルの屋上を使い園庭を使っていく考え方です。

次に、コの字型の体育館地下の案について説明させていただきます。

コの字の配置で、東郷公園からの入口はほぼ同様、小学校、幼稚園、アフタースクールがあつて地域開放を北西部から入れるという考え方です。

西側部分を、現校舎と同様のボリュームになりますが3階建てとし、北側校舎を4階建て、そして東側部分を4階建てにし、1、2階に幼稚園を入れ、4階にプールを配置する考え方です。部分的にピロティにはなってしましますが、園庭を独立して設けております。

各階の平面イメージです。東側 1 階、2 階を使って幼稚園を入れております。1 階部分南側にアフタースクールを入れまして、北側校舎は管理諸室を入れております。普通教室は北側校舎の南面採光の配置で、2 階と 3 階と 4 階に入れております。メディアセンターとなるコンピューター室、図書室などの機能を西側の校舎の方に集めており、3 階の上の部分は屋外機置場として利用し、東側 4 階に 25m プールを配置しております。地下 1 階に給食室を入れ、地下 2 階の部分に体育館と記念室、多目的会議室、地域に開放される部分を入れております。

南北に切った断面図では、体育館があり、地下、諸室があつて、普通教室が 3 層重なっている構成になります。東西に切った状態では 3 層で屋上に屋外機置場を配置しまして、地下に体育館が埋まっていて、東側校舎が 1、2 階に幼稚園、そして 3 階に特別教室で 4 階にプールがあるという階層構成になります。

それでは、今お示しました 3 案の配置について、それぞれ評価軸を設定して比較してみたいと思います。

まず、「小学校の教室の配置状況」ということで、主に普通教室の考え方ですが、L 字型では北側校舎の 2 階と 3 階に 12 クラス分確保しております。予備教室が現状 L 字型では取れていないこととなります。教室はすべて南面採光の配置です。コの字型の体育館 4 階案につきましては、北側校舎および 3 階では西側校舎の一部と、北側校舎を使って 2 階と 3 階に 14 クラス分を確保しております。予備教室が 2 階と 3 階に 1 教室分ずつ確保できていることとなります。南面採光と東面採光の配置となります。

コの字型の体育館地下につきましては、2 階 3 階および 4 階の北側校舎に南面採光で合計 15 クラス分確保しており、予備教室を合計 3 クラス分確保している形となります。すべての教室が南面採光の配置となります。

その次に「小学校の校庭」です。L 字型案ですけれども、ご覧いただきましたように園庭と校庭をどのように区画するかというのが 1 つの課題になっております。管理区画を簡易なものにできれば、運動会などでは園庭と一体的に利用することができます。面積的には淡いグリーンで塗った校庭の面積でおおよそ現状とほぼ同面積が確保できております。

コの字型体育館 4 階案につきましては、青で塗った部分が、先ほどの 3 階から上が、建物になるピロティになりますが、その部分も含めると現状とほぼ同程度の面積を確保できると思います。コの字型の体育館地下案につきましては、この部分で現状とほぼ同程度の面積が確保できており、校庭と独立して南側と東側に園庭を確保しております。

次は「幼稚園の保育室と配置状況」についてです。

まず L 字型では、西側校舎の南側部分を使い 1、2 階に保育室を合計 4 クラス分確保しております。すべての保育室が東面採光になっており前面に園庭が確保されております。

コの字型の体育館 4 階案です。東側校舎の 1、2 階に 4 クラス分の保育室が確保されており、これも同様に東面採光になっております。

コの字型体育館地下案では、東側校舎の 1、2 階に 4 クラス分の保育室が確保されており、奥行きはそんな確保できていませんが前面に園庭がございます。

1 階の赤の点々で囲った所が幼稚園の園庭になります。校庭と隣接していると、やはり校庭との区画の工法が課題になってくると思います。面積については現状、幼稚園で東と南に確保されている面積とほぼ同程度の面積が確保できています。

コの字型体育館 4 階案では、1 階 2 階に保育室等が入っていますので、レベルとしては 3 階床の部分、屋上に園庭があります。面積は L 字型案よりも広く取れていますので、現在の幼稚園の東側南側園庭よりも広い面積が確保されています。

コの字型の体育館地下案では、保育室前の南側と東側に配置しており、部分的にピロティになってしまいます。面積は現状の東側と南側の園庭とほぼ同程度の面積が確保されています。

続きまして、「プールと体育館の位置」についてです。

L 字型ですが、4 階にプール、地下に体育館を配置しております。体育館の採光はドライエリアを介してできるようにしております。プールは見下ろしの問題、プライバシーの問題もあります

ので、屋根ないしは庇をつけることになろうかと思いますが、いずれにしても日照を確保することが可能です。

コの字型の体育館 4 階案では、4 階に体育館、地下にプールがございませう。体育館は窓面より採光が可能で、プールがドライエリアより採光ということになります。

コの字型の体育館地下案では、体育館を地下に、プールを最上階に配置しております。体育館はこの図では表現されていませんが、ドライエリアを介して採光し、最上階のプールについては先ほどの L 字型と同様に、庇ないしは屋根をつけることになろうかと思いますが日照は確保できます。

続いて、「災害時の対応」についてです。主にプールと体育館の位置の違いから差が出てきます。L 字型の案ではプールが最上階で、体育館が地下にありますので、地震時の避難所としては各教室と体育館が想定できます。水害時、万が一水が入ってきた場合は、各教室とプール、プールは可動床といって床が動き、一番上まで上げてしまえばそこを避難所としても使えますので、この利用を検討する必要があるかと思いますが。最上階にプールを設けた場合は、災害避難時の生活用水としての利用が可能となります。

コの字型の体育館 4 階案では、体育館が 4 階にあり、プールが地下にございませう。災害時の避難所としては体育館と各教室が利用できるかと思いますが。生活用水は、地下にプールがあるので別途検討が必要になるかと思いますが。

コの字型の体育館地下案では、L 字型とほぼ同様に最上階にプールがあつて、地下に体育館がありますので、地震時の避難所としては各教室、体育館を利用するとして、水害時には可動床対応のプールと各教室を考えています。プールは 4 階ですので、水を災害避難時の生活用水として利用できます。

「地域開放の入口および諸室」についてです。先ほども説明がありましたように、この入口はあくまでまだ協議中ですが、特に西側については前向きにご検討いただいております、3 階部分についてはおそらくもう少し時間かかるかと思いますが。

L 字型については北西部の 1 階部分から入れます。地域開放として、体育館、特別教室、プール等を想定しております。

コの字型の体育館 4 階案では、1 階の北西部の西側と北西部の 3 階レベルからの導入を考えており、開放部分は特別教室と体育館、プールの他、5 階部分に記念室と会議室を設けており、別個に開放することが可能かと思われます。

コの字型の体育館地下案では L 字型と同様に北西部の 1 階部分から導入を考えており、体育館とプール、特別教室の他、地下に記念室と会議室を設けております。

「近隣関係への配慮」ということで、主に敷地北側の住宅の日照、眺望等について比較してみます。

南北で切った断面ですが、3 案とも北側校舎が 4 階建てとなつてしまひます。現状 3 階ですから、北側住宅についてはやはり日照とか眺望という面では妨げられるかと思いますが。

L 字型については、4 階にプールを乗せることを考えているため、おそらく屋外機置場はここに寄せざるをえないかと思いますが。そうすると 1、2、3、4 階建ての上にもう 1 層、屋外機置場、目隠しのパネルなどが出てまいります。

コの字型の体育館 4 階案では、屋外機置場を西側校舎に置くことができ、1、2、3、4 という構成で、その上にはおそらく屋外機置場は乗せる必要はないかと思いますが。

コの字型の体育館地下については、コの字型体育館 4 階案と同様に西側校舎部分、3 階建ての上に乗せることができますので、純粋に 4 階建てで屋外機置場は乗せずに済むことになるとか思います。

「景観まちづくり」として書かれていますのは、ご存知のように景観まちづくり重要物件に指定されておりますので、公園と一体に魅力的な空間になっているかということかです。公園からの見え方、模型を写真に撮ったものです。3 案の違いは、主に西側校舎の部分の見え方の差になってこようかかと思いますが。3 案とも今回西側に校舎を配置しましたので、校舎と公園の関係性は踏襲

されているかと思います。

L字型は西側に大きなボリュームを置くことでそのボリューム感、あるいは既存のコの字に囲まれた校庭の印象というのは失われるかと思います。

コ字型体育館4階案につきましては、どうしても大きなボリュームで見えてきますので公園や南側道路から見たときの校舎のボリューム感は変わってくるかと思います。

コ字型体育館地下案につきましては3階建ての校舎にしており、ほぼ現校舎と同程度の大きさですので、ボリューム感やコ字に囲まれた校庭の印象は踏襲できるかと思っています。

モニターでは以上です。

先ほどご覧いただきました模型では、南側に比較的高い建物が建っておりますので、このままお見せするとなかなかイメージが掴めないかと思い、若干スケールを大きくし、南側の建物をなくした状態のものを用意しました。これが既存の校舎になります。西側、北側とも3階建ての校舎で、東側に新しく作られました体育館があります。並べてお見せしたほうが分かりやすいのかもしれませんが、これがL字型の案になります。西側に4階建てがあり、西側校舎の上を少し丸く作っている部分がプールです。日照を確保しながらも見下ろしの視線を考えるとやはり屋根ないしは庇が必要になってきますので、4階建てのボリュームプラス中央部では少しボリュームを上げて、例えばアーチ状にすれば、下から見るとおよそ4層ぐらいのボリュームに見えてくるかと思っています。

こちらがコ字案の体育館を4階に上げた案です。1階2階部分がピロティ状に抜けており、いま体育館の高さを7階、天井高を7階で想定していますので、およそ5階建てで一旦模型をお作りしています。体育館の高さ、天井高さを上げるのであれば、場合によって6階建て分ぐらいの高さになるかと思っています。それとこのように片持ちにしている距離が細い部分よりも大きく、幅、奥行きがありますので、相当梁を大きくしないといけないと思うので、実際構造検討するとこれよりも高さは高くなってしまいかもかもしれません。模型上、柱がない模型にしておりますけれども最低限西側校舎の南東部分には最低限、絶対柱は出てきます。ただ校庭の真ん中に柱があると、さすがに使い勝手が悪いかと思っていますので、梁とか柱で相当しっかりした構造を作っていくことになります。

そして、こちらがコ字案で体育館を地下に埋めたものです。東側校舎の4階部分にアールをつけた屋根があり、これが先ほどのL字型案と同様に、4階にプールを配置しておりますので、4階建て中央部分は5階建てぐらいの高さになってこようかと思っています。西側については3階建ての校舎の上に、一部屋外機置場を乗せたもので、ボリューム的には現校舎とほぼ同様のボリュームにしております。

私の方からは以上です。いろいろとご意見をいただければと思います。

- 田中会長 どうもありがとうございました。  
ただいま3案についていろいろご説明いただきました。これからご質問なりご意見なりいただければ、よろしく願い致します。
- 坂口委員 3番目の地下にある体育館はイメージ的にすごく広い気がしたんですけども、1案2案3案で体育館の面積はどうなってるんですか。
- 設計1 体育館のアリーナ部分の面積は、公式のバスケットボールができる面積、縦横寸法で考えており、3案とも一緒です。ステージの位置が長手方向についたり短手についたりということで印象が違いかもかもしれませんが、運動できるアリーナの部分は同じにしております。
- 田中会長 プールと体育館との広さっていうのはどの程度違うの？  
イメージ的にどっちが広いよとか、どっちが狭いよとかおっしゃっていただければ。

- 設計1 どの案も体育館の方が広いです。28m×15mの点線になります。一方プールは15m×25mですからプールの方が狭いです。
- 鈴木委員 プールは1年中使うつもりでいるか、シーズンだけか。というのは、麴町中は屋根をつけたんで、結局夏でも温水を入れなきゃダメなんですね。多分富士見もそうだったような気がするんですけど。なぜかという、温水プールを1年間使えるようにすると、だいたい年間維持費だけで1億円かかるんですね。やっぱりそういうことをよく考えたほうがいいと思うんですよ。それから今、体育館のことが出ましたが、やはり体育館の場合、正式なバスケットコートがあれば一番いいかと。麴町がほぼ正式のコートですが、格子みたいなものも付けて、つけたばかりに掃除ができなかったりいろいろなことがありますから、そんなことも考えていただければいいかなと。
- 田中会長 私の聞き違いかどうか分からないんですが、さっきのお話の中で底を上げるって言ってました。ということは夏だけで、冬場は一般的に床を上げちゃって水を取るっていう利用も可能ですか。
- 設計1 プールについて年間利用するかあるいは夏場だけか、ということについては、今千代田区の方で協議中とのこと。もう1つ、先ほど申し上げた可動床は、必ずしも温水でないと設置できないというものではありません。例えば温水で利用する場合は可動床にすれば年齢の違う方たちがいろんな時間帯に分けて利用可能です。一方、夏場しか使わない場合は、冬場はその可動床を水面一番上まで上げて、支柱で少し補強をしてやればその上をプレイグラウンドとして使えます。例えば子どもたちが一輪車で使うとか、運動場まで行かなくても教室から近いところで屋外空間に近い状態で遊んだり運動ができる、というような利用もされています。災害時には床を上げてしまえば、その部分で避難生活を送ることも可能だということです。
- 鈴木委員 ただ、社会人もおそらく使うと思うんですね。その場合に可動式ですと子どもだったら90cmですけど、社会人だったら1m20cmにするとか。千代田区の体育館は、既存のまんまですから1m60あるんですね。だから可動式だと、年齢や何かに合わせて調節ができる。
- 木田委員 今、3案について説明していただきましたが、この案というのは全面改築、いわゆる全部壊して建て直す、それとも改修の案も含めて、全体の話がされたんでしょうか。
- 設計1 今、敷地全体の中で例えばL字に校舎を配置するとか、コの字に配置するとか、配置の方向性が定まっていけばということで、こうした案をお示ししております。ですので、全面改築ありきだったり保存ありきだったりということはありません。校舎の配置レイアウトが決まり、方向性が1案にまとまっていけば、次回で歴史的な価値の継承をどのようにやっていこうかという議題でいろいろとお話をお伺いできるのではないかと思います。
- 木田委員 今日3回目ですよ。3回目ですから、この間の第1回目の案では今回の打ち合わせは樹木の件と歴史的価値の件だったんで、それを飛ばしていくのかと思ったものでお伺いしました。
- 設計1 その意味では1回分遅れていることになります。
- 木田委員 そうすると、これは区に質問ですが、5回の予定が6回になるんですか。それとも5回のままで全部討議するんですか。
- 高橋委員 スケジュールについては当初の予定は5回でしたけれども、いろいろとご検討いただいてレイアウトの方向性が決まれば、次回歴史的価値についていろいろとご議論いただくということです。

結局、皆さん方の意見を頂かないとどういうところに価値があるかについても分からないわけです。そのあたりを頂いた上で、またお示しするという事だと思います。

木田委員 話しの内容によっては、5回が6回になるかもしれないということですね。

高橋委員 はい。そのあたりはいろいろとお尋ねの仕方の工夫というか、皆さん方にも区としてお尋ねしていきたいことも、アンケートを取った上でそれをご紹介しながら意見交換するようなこともあれば、回数の工夫はできていくのかなと考えております。

國岡委員 先ほどプールの温水のお話があったんですが、九段中等教育学校の設備を見学したときに、屋上に太陽光を使ってプールの温水を作るような装置があったんですね。この3案についてそういった装置を設置するような余地はあるんですか。

設計1 3案ともそれは可能だと思います。おそらく太陽光というより太陽熱の方を使っているんだと思うんですが、それを厨房の給湯やプールに利用されているんだと思います。どこか屋上のスペースに蓄熱装置を付けて、それを地下に持っていく、あるいは4階に持っていくというのは、距離が長くなるとかどうかの違いですので、3案とも対応は可能です。

國岡委員 先ほどおっしゃっていた屋外機置場は何のためのものですか。

設計1 今回、校舎全館の空調設備をつけるにあたって、ご家庭でもついている室外機の大きいものがあるとしても必要になってまいります。既存校舎では北側の校舎の1階部分に置いたりしていますが、おそらくそういうボリュームではなくなるので、換気の効率などを考えると屋上に置かざるを得ないと思うんですね。校庭の面積、園庭の面積を少しでも確保したいというご要望もありますから、屋上を使うということになると思います。

田中会長 今、プールとか体育館の話になっちゃったんですけど、実際にこれから、この3案のうちどの案でいくかがある程度決まれば、先ほどの何を残すかどうかという話が進んでくるわけですね。ということは、できればこの3案のうち、皆さんどれがいいのかということをお考えいただいて、お決めいただければ、次回にはもう少し進んでいくのかなと思いますけれども。ちょっと質問ですが、L字型の案で東側を開けたことには何か意図があるんですか。

設計1 前回の案は西側に開けていたんですね。昨年6回の協議会の中ではL字型案として東側に開けたものと西側に開けたものと両案出ていたかと思うんですが、西側に開けたものをお持ちしたら、どうもセキュリティ上不安があるというご意見いただきましたので。

田中会長 と言いますのはね、東側は住居がありますよね。そうすると結局うるさいとか、いろんな兼ね合いがある、だったらむしろ西側を開けた方が、いくら大きな声を出しても、とちょっと個人的に思ったんで。

設計1 ご指摘のように、小学校が校舎を改築するとき校庭の位置が変わると、もともと校舎で音がシャットアウトされていた住民の方にとってはどうも環境が違うということで、苦情を受けるケースが確かに多いですから、やはりここに住んでらっしゃる方の日常の音の環境っていうのは劇的に変わってしまうと思います。

田中会長 と言いますのは、もう何年も前ですけど現状でも近隣で運動会などがうるさいって言った人がいたもんだから。東側を開けちゃうと余計に、わざわざっていうことになっちゃいそうだから。



- 設計1 既存通りに開いてる分には改めて苦情は出ないかと思うんですけど、やっぱり環境が変わって、新たな配置になると苦情は出るかもしれないですね。
- 倉橋委員 2つ質問がありまして、最初のL字型の図のところ、園庭の部分が点線になっているんですけども、校庭と園庭との間に何か境目というのがあるのかなど。現在、幼稚園では、小学校で校庭を使ってないときに、子どもたちが校庭を全部お借りして遊んだりしてるんですけども、そこに何か区切りがあって校庭っていう風になるのか、区切りがない状態でそこが園庭になるのか、ちょっと分からなかったの、それが1つ。  
あと、右側にサービス入口というのがあるんですが、ここは何か搬入する場合にここからということですか。
- 設計1 まず2点目からになりますが、サービス入口は主に給食室の厨房への搬入動線になります。車で後ろから荷捌きのほうに入って荷下しをしてということなので、なるべく子どもさんの動線と重ならない方がいいかと思っています。先日東側は主要の入口としては不向きだというご指摘を頂きましたが、サービスの入口はやはり道路付じゃないとダメなものですからまだ東側に設けております。宅急便なども場合によって東側になるかと思いますが、ただ主事さんが西側にいらっしゃるの、こういった仕分けは当然出てくるかと思っています。
- 倉橋委員 今、西側のところから結構搬入があって、ちょうど園児が登園する時間や小学校が下校する時間に車がバックで入ってきたりとか。それで先生が一人で「ちょっとまだ出ないで」とか「先に出ちやいなさい」とか、車の誘導をしていたりとか、ちょっと危険なところを見たことがあったので、やっぱり子どもたちの動線と別の方がいいのかなと思います。
- 設計1 今そのような考えで、子どもさんたちの動線と地域の方たちの動線を西に集めまして、車を使う搬入・搬出動線を東側、と明快に分けてはいます。
- 倉橋委員 ただ受け取るときにいらっしゃらないと。
- 設計1 給食厨房については必ずしも主事さんが対応されるということではなくて、もう毎日のことですので、東側に分けることで管理上に不都合があるということはないと思いますね。一般的に今作られる学校さん、分けていらっしゃる方が一般的です。  
それと先ほどの園庭は、今後の協議になろうかと思いますが、体格の違う幼稚園の子どもさんが小学校の子どもさんと同時に使うときになかなか一緒にということにはならないと思いますので、こういった一体で使われてる小学校さん、幼稚園さんは、例えば簡易型のポットなどを使ったり、あるいは一部に仮設のポールのようなもので、通常はネットを張っておいたりして、運動会とか大きなイベントがあるときにはそれをどけて全体で使えるようにしています。ただ、日常的にはボールや子どもさんの行き来がないように使われてる事例もあります。都心の小学校さん、幼稚園さんでは時間帯をうまく具合に管理されて、一体的に、特に境界なしで使われてるケースもありますので、それは実際に使われる方々のご意見伺いながら、どちらでも設定は可能かと思っています。  
ただ、明快に分かれている場合と違って運用上煩雑になるというか、動かしたりネット開け閉めしたりと一手間増えてしまいますので、使い勝手は少し落ちるのかなと思います。
- 田中会長 他にいかがでしょうか。  
先ほど申しあげましたこの3案について、どういう風にお考えでしょうか。できれば今日ある程度固まればこの先進めやすいんですが。

設計1 そうですね。方向性が出ると先ほどのような課題の話もできます。それと、今こういうイメージでお話ししていますので、たとえば PTA 室が欲しいですか、会議室が欲しいとかいろいろのご要望があるかと思うんですが、ある程度レイアウトの方向性が出ないとその細かい話まで行けないのも実際です。ですので、忌憚ないご意見でいい悪いという印象だけでも結構ですので、ご意見いただけると少しは前に進んでいけるのかなと思います。

池田副会長 2案のピロティ下の柱ってのは南側に出ますよね。

設計1 4階3階の建物を点線で表現してるんですけども、南東のところは必ず柱が出ます。

池田副会長 一番南の端のところに梁が出ちゃうでしょ。

設計1 さすがに建物を、もたすっていうのは無理ですから、南東には落とさないって訳にはいかないと思います。これでも1本だと相当な距離飛んでますから。基本的に1本で頑張ることになりますが、そのために柱がまずものすごく大きなサイズになってくるので、教室に影響が出る可能性は当然ありますね。

それと、場合によって体育館下の部分の梁で頑張って持ち出さないといけないので、どうしても建物が高くなってきますし、それだけ階高もあがってくると思います。普通ここぐらいまで校舎があつて、ちょっと出すのもそれなりに構造的には頑張るんですけど、今この距離の2倍以上ありますから相当頑張らないと持たないと思います。

鈴木委員 一番安定感があるのはやっぱり第3案ですかね。

設計1 L字案もコの字型で地下に体育館がある方も、構造的には無理はしてないです。

田中会長 結局これ今3案ですか、そうすると西側部分が現状と同じ。

設計1 大きさ的にはほぼ一緒ぐらいで今考えています。

鈴木委員 3案だと考え方によっては校庭の下がフルに使えるわけですよ。

設計1 はい、そうですね。

小野里委員 体育館を広げようと思えばいくらでも。

設計1 極端な話でいう地下前面に体育館もできますが、コストはコストでまた。

鈴木委員 やっぱり地下をうまく利用して、倉庫やいろいろなものを地下へしまうってことも。

設計1 階高がありますので、おそらく今バツの表現しておりますが、地下1階などを有効に使うなら、防災倉庫、学校利用の倉庫はまだまだ加える余裕はあろうかと思うんですね。

田中会長 2案で北側から地域開放の入口っていうのがありますね。それは3案でも使おうと思えば3階が使える。

設計1 設計とスケジュールが合わない可能性もありますが、公園上段から入れるということになったら3案ともそれは可能です。今回西側に校舎を配置した関係で、それはどの案でも対応は可能かと

思います。2 案目は公園上段から入ることを積極的に活用して、さらに上の階を使っていきましようという考えでしたが、当然北側に住んでいらっしゃる方のバリアフリーを考えると3案ともこのあたりで例えばエレベーターをつけるなどの形で対応したバリアフリーですと、地域開放として非常に使い勝手がよくなると思います。

田中会長 常時開けとくことは。

設計1 それは多分ないと思います。地域開放の時間帯で管理して、西側で1階入口を設けておりますから、2ヶ所入口を設けるという考え方も1つありますし、もう1つはこの部分のレベルの方がいわゆる外部動線でエレベーターで1階に降りてきて1階の入口から入れば管理は非常にしやすくなりますね。受付される方も1階で受付してしまえばいいので。それは何種類かパターンがあるかと思いますが、考えられると思います。

小野里委員 私の個人的な意見なんですけども、総合的に見たら資料3が一番ベストじゃないかなと思うんですね。使い勝手もいいですし、また小学生に戻ったときをちょっとイメージしまして、私もこの卒業生なんですけども、イメージ的にも楽しく小学生の生活が送れるかなと。2案もコの字型でいいんですけども、安心安全の面からだいぶ校庭が建物の下に入り込むじゃないですか。スライドで見せていただいても素人目にもそれはちょっと不安かなっていう。今の設計はすごいと思うんですけども、それよりこの3案のほうが安全でより効果的に、広く使えるかなというイメージなんですけども。

倉橋委員 幼稚園側の目線で見てしまったいへん申し訳ないんですが、3案の部分の1階の部分に園庭があって、今のピロティみたいにへこんでますよね。それでちょっと2階が張り出してるんですよね。そのときその張り出してる部分には柱は。

設計1 基本的に柱は今入れていません。これぐらいの持ち出しならば柱はいらないので。

倉橋委員 今の幼稚園にピロティがあるんですけど、そこには柱ついてるんですよね。

設計1 そうですね。

倉橋委員 あれよりも狭いんですか、幅とか。

設計1 実は今日報告しないといけないのが今緑で塗ってる部分で、これは先日壁面後退線としてお示ししてた2mのセットバックなんです。現状、都市計画課さんとお話しているなかで、これは今後の協議になりますが、塀を新設する場合は基本的にはセットバックしてもらいたいというお話もありました。それが無い状態では、実は園庭の奥行きは既存と同じにしています。ですから既存より塀のセットバック分は逆に1.5mぐらいでしょうか、狭くなってしまうことになるんです。今セットバックしている1階の壁の部分が、既存の園舎とほぼ同じ位置になります。

倉橋委員 緑の部分が園庭にならないわけですね。

設計1 今後の協議にもよるかと思いますが現状ちょっと安全側で描いており、塀を少しセットバックしたような絵にしております。そうすると既存より約1.5mぐらい狭くなってしまいます。

倉橋委員 ちょうどこの部分が緑が結構多い場所で、結構子どもたちが菜園のようにピーマンなどを作ったり、金魚を飼ったり、楽しくいろいろ使っています。そういう自然が多いところなので、で

できればその部分も残しつつ、あとちょっと砂遊びができる部分を残していただければと思って。あとは、その柱のことが気になって。

設計1 セットバックしてる部分の緑については、私もまさに同感でして、南側も含めて非常に立派な木が生えてるんですね。地区計画上セットバックするっていうルールは分かるんですけど、一方でその緑はどうするんですかっていう話もあって、恵まれた緑の環境、基本的に塀をなくすっていうのは木を伐採することになってしまいますから、やはり今後もう少し協議を続けていかないといけないと思うんですね。特に南側の木は相当立派な木ですから、あれを切るのはちょっと忍びないというか、もったいないと思うんですね。

倉橋委員 結構あそこ、自然に恵まれているところなので。

設計1 東側も土の上で遊んでいらっしゃるのかなと思いますし、単に塀をセットバックすると、そこには立派な木はもうなくなって、環境自体ガラッと変わってしまいますので、今後まだ協議していく必要があると思います。

倉橋委員 できれば残していただければと思ってます。

杉田委員 今のその後退させる件ですけど、塀をいじらなきゃ構わないでしょ。

設計1 それもですね、塀だけ残すことが認められるかどうかなんですけど、理屈上そうですね。

杉田委員 既存のものを動かさなければいいってことでしょ。

設計1 そうです、とはなかなか申し上げられないんですが、そうなる可能性はあるんじゃないでしょうか。

杉田委員 行政側のことは分からないけれども、一応既存の塀は動かしませんよ。そのままだったら1.5m、2mセットバックっていうのは校庭として使えるっていうことですよ。

設計1 そう思いたいんですけど、なかなか私の方からできますともすぐに申し上げられませんので。

田中会長 セットバックについては、我々一同とすれば現状のままで塀を残して、それで考えていただきたいっていうしかないんでしょうね。それでこれから先どういうふうにしていくかっていうのが問題になって。

さっき小野里さんから第3案がいいというご意見が出ましたけど、いかがでしょうか。

設計2 私からもちょっと発言させていただきます。今、彼は設計者の立場として3案になるべく差をつけないように、メリハリをつけないように説明したんですが、私は以前お話した通り第三者的に関わることになってますので、設計の立場とは離れて、改めて中立の立場で3案を見たときに、どうかということを一応専門的な意見として語らせていただこうかなと思います。

今回の案を見させてもらって、あの建物を作るにはどういうボリュームになるのか、ということが非常に大事なことだと思うんです。特に皆さんは建物の中のことはすごく気にされてるんですが、やはり学校というのは周りのことが非常に大事だと思うんです。先ほどおっしゃられたL字型の場合、東側の住民に対してっていうお話がございましたが、やはり学校というのは長いこと近所と付き合うので、周りのことを考えるのは非常に大事だと思うんです。ですからおっしゃられた通り東側のことを考えると今まで校舎があったのに校庭になってしまうと音がダイレクト

に来ると、気になるというのはまずあると思うんです。

あともう1つ私が気になるのは、どうしても北側の住宅の方ですね。今まで北側の住宅、この方から見ると、既存ではかなり低層で抑えられて日照や眺望が得られたのが、どうしても前に大きな建物が来て相当高くなる。やはりここはなるべく抑える方向が手段として正しいのかなというのがまず1つ考えられます。

もう1つ、そういった周辺状況で大事なものは、学校側と公園側をどう考えるかということになると思います。

それともう1つ気になっているのが子どもたちの教室の日照条件を考えてやるのが大事かなというのがあります。例えば2案のような形になると、どうしても日照が悪くなる。ここに大きなボリュームが来ますので、多分午後になるとずーっと日が落ちてくる、ということがございます。そういったことを考えるとなるべく地上面のボリュームを抑えて教室に光が当たるような校舎であることが学校としては大事かなと。ですから、我々が校舎を考えるときにはやっぱり学校の周りのことをどうするか、そして特に教室の日照をどう考えるか、これが非常に大事かなということがございます。私も専門として参加させていただいていますので、これは久米設計というよりもあくまで私個人の客観的な意見として参考のために説明させていただきました。

これもあの皆さんが判断される上で参考にさせていただければと思いますので、よろしく願います。

杉田委員 今の話で北側っていうのは分かるんですけど、南側の日照っていうとこの校舎、かなり東に振れてるんですよね。それで実際にはもともと、それほど光は入ってないんですよね。裏側の方々のことを意識すれば、むしろあの東西に長い方にできるだけ高いもの建てた方が教室には有効な光が入るんですね。

西側を高くして東西を低くすると、東西の教室にはそれほど光は入らないんです。特に冬は太陽の光は入らないと思いますね。

設計1 おそらくもう11時ぐらいになると、西側校舎の影響を受けてしまうということだと思います。そういうこともありまして、西側の校舎を下げて南側の日当たりがよくなるかと思うんですが。

國岡委員 校舎が新しくなると入りたいっていう希望者の方も増えるだろうってお話が前回出てたと思うんですが、L字型案に予備教室がないというのが私は非常に不安を覚えるところでして、予備教室がある案を採用すべきだろうと思うんですね。

先ほどアクロバティックなっていう表現をされてたちょっと特殊な造りの2案の校舎、興味はあるんですけども、やっぱり実際どうなんだろうというところで不安も大きくて。やはり先ほど小野里さんもおっしゃっていたように3案が一番安心感があるというか、イメージがわかりやすい感じは致しました。

他の方のご意見も伺ってみたいと思うところなんです。

田中会長 いかがでしょうか。國岡さんのご意見も出ましたけれども。

坂口委員 私も同じく、やはり2番目の案はちょっと格好良さそうになりそうっていうイメージもあるんですけども、安全などの面であまりにも上に重心が行き過ぎていてちょっと怖いと思うので、2案は論外みたいな感じに思ってしまった。やはり3案の中でやはり3番目のコの字パターン、校庭が囲まれている形が一番今の感じの建物にもイメージが似ているので、今までと同様な安心した感じを得られて、私も3案にちょっと気持ちが向いているんですけども。

あとは校庭の下の体育館のあたり、地下がもう少し広く使えるようになれば、面積的にゆとりが出てくるのではないかとということと、教室も一予備教室が多かった案だと思うので。今は全然

PTAの使うお部屋がなく、校長先生のお部屋をお借りしてみんなで集まっているような状態だと思うので、やはり何か独立してそういう教室も使えるようなところがあったら嬉しい。幼稚園の方も皆さん、そうやっていろいろ場所を探して作業してらっしゃるので、ゆとりを少し持てるような案がいいと思います。

鈴木委員 僕もやっぱりいちばん第3案がいいと思うんですけど。3案の場合ですね、教室が今北側に2、3、4ってなってますよね。西側が今図書室入れて3階ですよ。それをもし北側の方の住宅の方の高さを減らすとすれば、4階の部分を図書室の方に移すことが可能かどうか。もし北側の日照権の配慮するって意識があれば。

設計1 近隣への配慮と子どもさんの生活環境の天秤になるかと思うんですが、今第3案は南面で取っておりますので、子どもさんの生活環境、教育環境をまず第一とする考え方です。それは今後のバランスの取り方になってくるのかもしれない。

田中会長 今のお話は第3案で北側が4階建てになっているけども、これを今まで通りの3階にして、西側を4階にはできないかっていう。

鈴木委員 というよりも、前の2案ですと1番上に体育館入ってますよね。教室の方が低いわけですよ。もうちょっと2案の4階を3案の4階部分を図書室の方に持ってきた方が西側の方も少し下がるわけですよ。

設計1 先ほどの第2案と同じで、西側に普通教室を置いたらおそらく東側の採光になるかと思うんですが、こういう方位ですとおそらく11時ぐらいになるとその部屋には日は当たらなくなる、そういったこともあって今南側にしています。で、おそらく西側がその日照の弊害になるので、西側を下げることで日が傾いてきても南側に子どもたちの教室に光を当てるという考えですね。

田中会長 大体3案が多い、しかもL型の第1案のお話は全然出てこないんですけども、一応第2案、第3案、まあ3案がほとんどなんですけど、この辺りでご検討いただくことはできますか。

設計1 3案をベースに次回お持ちしてということですか。

田中会長 3案をベースに、ひょっとしたら2案になるって言ったらおかしいけども、そっちの方がいいのかどうか。これはまた時期によって次に皆さんとお話になって、いややっぱりこっちの方がいいかなって可能性は。それだったら例えば第3案と決めちゃった方がもちろんいいでしょうけど。

設計1 3案の中でお示ししていく中で、この教室をどうしたいとか場合によって西側を繋げた方がいいんじゃないかってことになるかもしれませんし。できたらその1案をベースに、この部屋がいる、いらないうって忌憚ないご意見をいただいた方がこれは地下に持っていく、これは3階に持っていくと一歩進めると思うんです。

田中会長 今ここで、第3案が非常に多いんですけども、それで検討していただくということになるとこれからある程度細かい議論が次にできる。

設計1 そうですね。実は今は主要な部屋しか部屋名を入れていませんので、次回以降はもう少し、模型も大きくしたり、図面上ももう少し各部屋を入れていって「この部屋がないじゃない」っていうことがちゃんとご指摘いただけるような絵にしていきたいと思ってます。

- 田中会長 いかがでしょうか。今のお話である程度皆さんのご意見、と言ってもまだまだ大勢さん何とも仰ってないんですけども。
- 細内委員 私も3案非常にいいと思うんですけども、ただ問題はですね、2案と同じように二七通りの方からの入口をご検討いただきたい。  
それから教室の数は同じなんですか。
- 設計1 あのまだ詳細な検討はできてないんですが、第3案の方が15教室取れていまして、第2案の方が14教室ですので、予備教室が第2案の方ですと2ヶ所取れてるんですが、第3案ですと2階3階共通ですので3つ取れていることになります。ですので、第3案は2学年に1教室分、予備教室を設ける考え方で、第2案は3学年に1つということになります。
- 細内委員 じゃあ、例えばもしその公園側の方、北側の方から3階の出口ができるのであれば、そのとこの一部だけもう1つ作ることもできますよね。
- 設計1 予備教室や多目的会議室みたいな形で取っておけばそれを普通教室と同じにすることでいろいろ兼用可能になってきますので。
- 細内委員 もう1つは地下の体育館の心配はやっぱり水害ですね。水害のことを十分考慮入れていただいた上でお作りいただきたい。
- 設計1 水害のことを考えて体育館に水が入らないようにしますし、万が一何か起きた時にも、今後の検討になってくるかと思うのですが、プールをどのように防災拠点として使っていくかという検討が必要になってくるかと思います。
- 杉田委員 ちょっと教えてほしいんですが、空調が地下の場合、震災があつて電気が止まった場合でも、地下の空調は大丈夫なんですかね。
- 設計1 空調は、地下でも特に地上と変わりはないです。  
実は地下に体育館を設けるデメリットとしては、万が一の水害に対応できるかってことなんですけど、反面温度に関しては年間通じてある程度安定していますから、夏場とか冬場の過ごし方としては地下の方が有利だったりするわけですね。その良い所と悪い所、実は両方ありますよね。  
電気が止まった場合は非常用発電機をつけることになろうかと思いますが、それをどの部屋に持っていき、どこを優先するのかという話は、今後区と協議していくことになると思います。それと並行して、なるべく自然通風と自然換気で電力を使わないでいかに過ごせるかっていうことも検討していきますので、地下でありながらもドライエリアを設けることで単に館内に光を通すってことだけでなく、どれだけ有効に光を通していかってことは、シュミレーションしながら検討していくことになるかと思います。
- 田中会長 そろそろ時間も来ましたが、いかがでしょうか。  
第3案をベースにして、これから考えていただくことでよろしゅうございましょうか。
- 一同 (拍手)
- 田中会長 ではそういうことでお願いしたいと思います。  
言っているのかどうかわかりませんが、一応座長として1年やってきまして、委員の皆さんのご意見その他いろいろありましたが、私個人的に、ある程度この3案でお願いするなかで、でき

ることならば時計台を残していただけないかなってということも考えているし、それから現状の教室、何らかの形でその教室1部屋2部屋程度、現状のままに残せるかどうか。今までずっと皆さんと話してきた中で、残せるものは、ある程度久米さんのほうで設計していただいたあとで、まだもっと他にも残せるものがあるのであれば少しでもね。これは私の意見なんですけども。ひとつそれをご考慮いただいて、次回の案をお考えいただければと思います。

設計1 はい。承知しました。

皆さんやはりいろいろと思い出をお持ちで、どこか、何か、残せるならば、というお気持ちお持ちだと思しますので。

田中会長 では、大体固まって第3案ということで、事務局それから久米設計さんに今後お願いしたいと思えます。次の第10回目の日程などお図りいただければ。

辰島課長 次回の予定ですが、今のところ12月の中旬に開催する方向で調整させていただきたいと存じます。また具体的な日にちにつきましては事務局の方で会長と相談させていただきます。

時間、場所は今回同様、午後6時半から九段小学校図書室の予定でございます。

また改めてご連絡差し上げたいと思います。よろしく願い致します。

また、本日の協議で敷地内レイアウトの方が決まりましたので、前回お配りしましたスケジュールに従いまして今回は、「基本設計に当たっての確認事項、他、樹木と歴史的価値」についてご検討をお願いする予定でございます。ここに関する議論に当たりましては、実現の可能性や構造に関する専門家の助言を得ながら着実に議論を積み重ねられるように、建築物の歴史的価値の保存、建築物の構造、それぞれの専門家に協議会にご参加いただきたく今準備を進めております。またその次の会に予定しております教育環境、あるいは施設開放、防災拠点につきましては、効率的にご議論いただけるように、区の方針をまとめた資料を事前にお配りしまして、協議会では資料に対するご意見をお伺いする流れで進みたいと考えておりますけれども、いかがでございましょうか。

ありがとうございます。それでは今後はそのように進めさせていただきたいと思えます。

なお、本日欠席された委員につきましては事務局より本日付の資料をお届けすると共にまた協議の内容、今後の議論の流れについても説明させていただきたいと思えます。

よろしく願い致します。

田中会長 どうもありがとうございました。

それでしつこいんですけども、せっかくここで皆さんにいろいろご意見いただき、ある程度ここまで進んできましたんで、とにかく協議会のご意見を最優先していただかないと、ということを一言。

高橋委員 これは区議会の場でも先だってお伝えしたところですが、千代田区の学校の整備に当たりましては、どこの学校でも協議会、地域の方々、関係者の方々のご意見を最大限尊重しながら整備を進めてきた経緯がございます。九段小学校・幼稚園も同様でございますので、ぜひご安心していただければ思っております。どうぞこれからもご協力よろしく願い致します。

田中会長 ありがとうございます。

これで本日の予定を全部終了致しました。ほんとに皆さんご協力ありがとうございました。これでお開きにします。ありがとうございました。